

【町政への要望事項及び町からの回答】

黒川ブロック

平成29年度町政への要望事項と回答

提出区会名

黒川町第4区会

要 望 事 項

ゴミの分別について

家庭ゴミの出し方、分け方に間違いが多くあります。何が違って分別されているのか、どの点が問題なのか具体的事例を出して回覧するなり、ポスティングするなりで周知を試みてはいかがでしょうか。意図的というより解らない、間違っている認識がないということも考えられるのではないのでしょうか。

回答（処理）事項

担当課名

環境対策課

ゴミの分別について「間違っている認識がない」ことも充分考えられます。このため、収集されなかったゴミを写真撮影のうえ回収できない理由を記したラミネート加工の啓発文をステーションに掲示するなどしています。また、そのステーションの事情に合った回覧板や啓発文書を作成し配布するなどし、地域と一体となり取り組んでいます。各ステーションに合った取り組みを継続することが重要と考えておりますので、個別の事情につきまして環境対策課までご連絡をお願いします。

提出区会名

黒川町第4区会

要 望 事 項

火葬場の環境改善について

人生最後のお見送りの場所である余市の火葬場があまりに古く劣悪だと思います。たいていの市や町はバリアフリー化や建て替えております。長年余市に住み、支えてきた方の最後のお見送りの場の環境を改善してください。

回答（処理）事項

担当課名

環境対策課

現在の火葬場（余市町営斎場）は、昭和48年に供用開始し火葬炉設備本体及び建物の老朽化が著しく、更には火葬棟と待合棟が別棟であり利便性も悪いことから、平成28年度から余市町営斎場建替事業に着手し、平成30・31年度に本工事を行い平成32年度の供用開始を目指し、現在鋭意努力しております。尚、計画する建物については老若男女問わず利便性に優れ、最愛の方の最後のお見送りの場としてふさわしい施設としたいと考えております

提出区会名
黒川町第4区会

要 望 事 項

道路補修等について

道路については区会長を中心に、とнаっています。建設課も道路の状態を定期的・計画的に巡回し補修できるような取り組みを要望します。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
----------	------	-----

日頃より地域に共通する事項等に関し区会を通じ情報提供をいただいていることに感謝申し上げます。
町道の補修等につきましては、建設課におきまして道路パトロールを行い、路面内の段差やマンホール不具合などの現地状況を確認の上、補修が必要な場合には対処しているところでございますので、ご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

農業への人手の工夫

農業への人手の工夫

回答（処理）事項	担当課名	農林水産課
----------	------	-------

農業を取り巻く状況は、全国的にも、担い手不足や営農者の高齢化など様々な課題があります。新聞等の報道にありますように、有効求人倍率はバブル期を超える高水準となっておりますが、農業の生産現場では労働力不足が深刻化している状況でございます。

本町におきましても地域の担い手となる農業者の規模拡大や農業法人などで雇用労働力を必要とする一方、過疎化・少子高齢化の問題もあり、恒常的な労働力不足が続いている状況であると聞いております。

今後は農作業の集約化・効率化、ICT等を活用した「スマート農業」などの活用も視野にいれながら、関係機関と連携・協議し、問題解決への取り組みを進めていきたいと考えているところではございますが、今後の人口減少社会を見据えると、現段階において抜本的な解決策を打ち出すことは大変難しい状況にあると考えられますので、ご理解をお願いいたします。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

学校行事について

子どもの少人数化で学校行事（運動会など）が寂しくて張り合いがない。町内小学校を合同で実施してはどうか。

回答（処理）事項	担当課名	学校教育課
----------	------	-------

運動会、学芸会などの小学校行事については、それぞれの学校が教育課程に位置付けるとともに作成する指導計画に基づき実施しているもので、合同で諸行事を行うことは学校事情などからも、難しいと考えております。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

婚活について

若い人の結婚離れ。町外、道外など、内々ではなく外との婚活を支援。

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
----------	------	-------

国の行った調査によると、「いずれ結婚するつもり」と答える18歳から34歳の男女はいずれも8割を超えている一方、生涯未婚率は平成22年時点では男性20.1%、女性10.1%と、20年前に比べ大きく上昇しています。

こうした中、地方自治体では、地方の実情に応じて出会いの機会を提供するなど、個人の希望や悩みに寄り添い、結婚の希望をかなえるための取組が行われています。

現在本町では、広域的な連携のもと、後志の魅力を活かしたイベントの開催や実施団体への支援等に取り組むため、北海道後志総合振興局を事務局として組織されている後志管内結婚支援協議会に参画しており、昨年度は同協議会事業において本町内の農園においてぶどう収穫やバーベキューなどの交流を行う出会いイベント「しりあ〜う」を実施し、本町含む後志管内はもちろん、札幌市からのご参加も多くいただいたところです。

今後につきましても広域的な連携のもと、後志管内におけるより効果的な結婚支援の在り方について検討していきたいと思っておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

子どもを持つ若い世帯への支援

子どもを持つ若い世帯が生活しやすい町の支援

回答（処理）事項

担当課名

町民福祉課

平成27年4月より、すべての子どもや子育て家庭を総合的に支援する「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、町では、この新制度を円滑に実施していくために、平成27年度から5か年を計画期間とする「余市町子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

そのなかで、平成29年度から放課後児童クラブの増設・環境整備、受入れ学年の拡充や黒川児童館における地域子育て支援拠点事業「あっぷる」の開設など、計画を前倒し実施しながら、より良い子育て環境の提供を推進し、子育てしやすいまちを目指していますのでご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

子どもを産もうかと思う町の支援

子どもを産もうかと思う町の支援

回答（処理）事項

担当課名

保健課

本町では、安心して妊娠・出産・子育てができるよう訪問や相談、乳幼児健診などの充実に努めるとともに、本年10月1日から不妊・不育症に悩む夫婦が高額な治療費から出産をあきらめることがないよう不妊・不育症に対する治療費助成を行っています。

また、子どもを健やかに育てるために必要な知識や技術の伝達・相談・情報交換の場としてニコニコたまご教室（両親学級）・すくすく教室（離乳食講習会）・ママさん交流会などを実施し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援に取り組んでいます。

提出区会名
黒川町第6中央区会

要 望 事 項

道の駅の充実について

道の駅の充実。余市町の産物を活かした開けた道の駅づくり。駅前から国道沿いにかけて何らかの工夫。

回答（処理）事項	担当課名	商工観光課
<p>一昔前の道の駅の形態は、道路利用者に対する休憩機能が中心とした施設でありましたが、最近の道の駅の傾向としまして、地域のPRや地場産品等の物販機能を強化した形態が主流となってきており、道の駅自体が観光施設としての目的地となってきています。</p> <p>一方、現在の「道の駅 スペース・アップルよいち」は、供用開始から18年が経過しており、売店、直売所、トイレなどが分散していることや、売店、直売所などの規模が小さく利用者の満足度を得られていない、トイレが古くなって清潔さが低下してきている、そして、他の道の駅に比べて見劣りがあるといったことが指摘されてきています。</p> <p>町では、現在、分散している施設を集約し、さらに新たな機能を加えつつ道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を再編整備するために調査検討を行っているところであり、今後、機能集約・機能充実を図れるように計画を進めていき、さらに国道229号沿線美化運動を行っている町民団体等との連携を進めていきます。</p>		

提出区会名
黒川町第6南区会

要 望 事 項

防災無線の設置について

管内で防災無線の設置していない町村は余市町だけだと聞いておりますが、予算的にはどのくらいかかるのか、助成はないのか、既存の設備を利用してでもできないものかお知らせください。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
<p>防災無線について、現在、管内における未整備の町村は、本町を含め3市町村あります。また、利用できる既存の設備及び助成制度についてはございません。防災無線の導入に伴う経費や維持管理経費など考慮すると、早期に整備することは困難な状況にありますが、災害時における情報伝達の確保は重要課題の一つであるため、防災無線のシステムや整備上での地理的条件など、本町に最も適した皆さんに確実に情報が伝わる手段の検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
黒川町第6南区会

要 望 事 項

黒川（町管理河川）の管理が悪い

区会の中を通る黒川の土手の草刈り、水草、汚泥の除去が何年も実施されていないため流れが悪くなっているため、水害対策のため至急実施願いたい。

また、川に流れ込む用悪水路の管理者に水路管理の徹底を指導してもらいたい。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>準用河川黒川につきましては、比較的勾配の緩い河川であることから、河川の流下能力を確保する治水上の観点から、定期的に川底の泥上げや雑草等の除去等を行っているところでございます。</p> <p>作業にあたっては、一部土地所有者とも相談しながら作業を行う区間もございしますが、今後も引き続き浚渫や雑木雑草等の除去を致すよう考えております。</p> <p>また、川に流れ込む側溝等の清掃につきましても、地域のご協力をいただいているところでございますので、ご理解をお願いします。</p> <p>※流下能力（りゅうかのうりょく）とは どのくらいの水を流すことが出来るのかを表したもの。</p> <p>※治水とは 川が洪水をおこさないようにすること。</p> <p>※浚渫（しゅんせつ）とは 川底にたまった土砂などを取り除くこと。</p>		

提出区会名
黒川町第6南区会

要 望 事 項

冬季における避難道路の確保について

区会の冬季期間の避難道路としては旧国道5号線の1か所のみであります。黒川中通線または道道赤井川線に抜けるよう除雪区間の延長をお願いしたい。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課・建設課
<p>除雪作業におきましては、主要公共施設や通学路、町民の生活道路確保のため、家屋の連担度などを含めて除雪をしておりますが、当該路線につきましては、道路の利用状況や家屋の連担等の状況等から優先的に除雪を行うことは難しいと考えるところであります。</p> <p>ご案内のとおり、雪の処理は生活上大変重要な問題であり、町としましては最大限の努力をしてみたいと存じますので、ご理解をお願いします。</p> <p>※連担（れんたん）とは 区画をまたいで建築物ないし街区が繋がっていること</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

余市駅の改装等について

駅にエスカレーターを設置（キャリアバックを持った旅行者の増加のため）
 黒川町10丁目側に改札口の設置、利用者増加のため。
 駅内に外国人客も気軽に寄れるカフェの設置、スターバックスなど、知名度の高いブランドがよい。

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
<p>連続テレビ小説「マッサン」の放映を契機に、近年は一定の落ち着きは見られるものの、現在も旅行カバンを持った観光客等が、JR余市駅を利用しており、本町と致しましてもJR北海道に対し、バリアフリー化等を含めJR余市駅の利便性向上の要望を行っておりますが、施設の整備には大きな経費がかかることから、現時点では困難との回答をいただいているところでございます。</p> <p>また、黒川町10丁目側への改札口の設置につきましても、民間の宅地開発や大型商業施設等の立地が進み、町民の日常生活における動線が、JR余市駅東側地区へと移行しているなど、余市駅の利便性を向上するうえから、東口改札口についての要望があることは把握しておりますが、改札口の整備や維持管理、運営経費等には、大きな経費がかかることから、早期実現につきましては困難と考えます。</p> <p>今後におきましても機会あるごと、利便性の向上に向けた要望を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>さらに、スターバックス等の知名度のあるカフェ店の駅舎内設置につきましては、民間企業でもあることから、採算性等を勘案し相応の利用客が見込まれる必要があるため、現状では困難と考えており、JR余市駅に併設されているエルプラザの休憩スペース等の利用を頂きたいと存じます。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

高速道路開通に伴い出口付近の開発について

平成30年度高速道路開通に伴い、パーキングエリアや道の駅など、センスを良く作って頂きたい。
 このままでは後志の中で住み易いだけの埋もれた街になります。ポテンシャルがある街なのだから、それを豊かなアイデアを活かし発展させて頂きたい。

回答（処理）事項	担当課名	企画政策課
<p>平成30年度の余市インターチェンジ供用開始に伴い、札幌市内への所要時間が60分以内になるなど、道央圏へのアクセスがこれまでに比べ格段に向上することが見込まれています。</p> <p>余市インターチェンジから市街地への適正な交通量を維持できるよう関係機関とも協議を行うとともに、本町の豊かな山海の資源を生かし、高速道路を利用して本町を訪れる方も地域にお住まいの方も楽しめるような環境づくりについて、引き続き検討を行ってまいります。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

ゴミに対する認識を

ゴミステーションの設置に町より助成金が出ていることを町民に広く知らせ、町内会まかせにしないで、町が主になって動くべきと思います。
 収集場に残されたゴミは、ボランティア袋に入れておく対策は次につながらない。ゴミ分別の教育は広報、町内会の集会を利用して常にする必要があると思います。転入者への周知、あんしょん、アパートのステーション設置義務等。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
<p>ごみ箱等設置補助金については、これまで多くの区会に対し助成をしてきたところです。年1回各区会から推薦された廃棄物減量等推進員にお集まりいただき、推進会議を開催しその中で助成金について詳しく説明を行っており、一定程度周知されていると認識をしていますが、今後もこの制度を利用していただくよう一層のPRに努めます。</p> <p>不適正排出されたゴミをボランティア袋により出し直すことは、解決に繋がらないことは充分認識しています。あくまでも地域のステーションの清掃、美化のため利用していただきたいと考えています。分別につきましても、継続して広報、HPで周知していきます。町内会等の集会を利用しての広報活動は積極的に取り組んでいきたいと考えていますので環境対策課までご連絡をお願いします。転入者の方へは、「収集カレンダー」、「家庭ごみの分け方・出し方」の冊子をお渡しし、疑問点があれば説明をさせていただきます。新築マンション、アパートについてはごみステーションが設置されています。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

プラスチックのゴミ収集について

プラゴミ収集の日「違反」とレッテルを貼って置いていきますが、誰も取りに来ません。カラスが破って周りが散らかっています。
 シールを貼られたゴミ袋はどうしたらいいのか、常に疑問に思います。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
<p>プラ包装類については異物や汚れがついていると回収できません。回収できない理由を記してシールを貼付していますので、出された方が再度分別をして出し直すこととなりますが、そのまま放置されるケースがあります。</p> <p>対策としては、一定期間経過後、環境対策課までご連絡いただければ回収します。なお、地域でご協力いただけるのであればボランティア袋を交付しますので、燃やさないごみの目に出していただく方法もあります。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

各区域の公園の管理について

各区域の公園の管理について一考が必要ではないか。
雑草が伸び放題、遊具、ベンチもなし、砂場すらなし、確かに安全性（危険性、安全管理等）他の面からは十分に理解は出来ますが、町の資産を減少させているように思います。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>子どもたちが安全に利活用できる公園になるよう、遊具の定期的な点検を行うとともに劣化・破損状況が著しいものは遊具利用者の安全性を確保するため撤去等をしております。今後とも公園施設の状況確認を入念に行い、快適な公園の維持管理に努めてまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

旧登川の清掃について

旧登川（よいち整形付近）の雑草を刈ってほしい。
川面が見えない状況です。大雨、台風時、氾濫すると困ります。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>準用河川旧登川につきましては、河川の流下能力を確保する治水上の観点から、今年度に川底の泥上げや雑草等の除去等を実施したところでございます。 今後も引き続き現地の状況確認を行い、必要に応じ浚渫や雑木雑草等の除去を行うよう考えておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>※流下能力（りゅうかのうりよく）とは どのくらいの水を流すことが出来るのかを表したもの。</p> <p>※治水とは 川が洪水をおこさないようにすること。</p> <p>※浚渫（しゅんせつ）とは 川底にたまった土砂などを取り除くこと。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

黒川会館について

黒川会館が避難場所に指定されておりますが、老朽化が進んでおり改善を希望します。

回答（処理）事項	担当課名	町民福祉課
<p>黒川会館につきましては築50年近くを経過しており、老朽化も進んでおりますので、現余市町総合計画の中で、建て替え等対応してまいりたいと考えておりますのでご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
黒川町第6北区会

要 望 事 項

街灯について

にれの木通りの街灯が暗すぎると思います。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>街灯につきましては、夜間における住民の不安を解消し、地域の利便性の向上を図るため、道路整備時に設置する道路照明や通行の安全を確保することを目的とした交通安全灯の整備をしております。 また、こうした街灯以外にも防犯上必要と思われる箇所があれば、その地域の区会が設置及び維持管理している防犯灯がございますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
黒川町第7北区会

要 望 事 項

高速道路の開通について

高速道路の開通は移住者を増やす機会だと思います。
 移住を検討している方で、どこに相談したらよいか分からない方もいると思いますので、PRをしたり、移住者に住居を斡旋するなどサービス作りが必要だと思います。

回答（処理）事項

担当課名

企画政策課

現在本町では、移住に関するワンストップ窓口として、総務部企画政策課において移住を検討している方からのご相談やご質問をお受けしております。

平成27年度に策定した「余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、高速道路の開通による札幌市をはじめとする道央都市部への移動や救急医療搬送等の生活利便性がこれまで以上に向上する優位性を生かし、ひとの流れを生み出すことを目的として、平成27年度からドラマの放映を踏まえた本町ならではの移住・定住PR動画を作成し、動画配信サイト「YouTube」で配信するなどの取組を行っておりますので、是非一度ご覧下さい（「余市町チャンネル」と検索下さい）。

また、移住PR用のパンフレットやポスターを作成し、新千歳空港や東京都はじめ首都圏で開催される移住フェアにも北海道と連携して参加するなどの取組を行っているところです。

また、本町ホームページの移住・定住情報におきましても、実際の移住者のコメントやおおよその生活に係る費用のシミュレーションなどの情報が1ページで見られるよう、11月中旬からリニューアルをし、情報の充実に努めております。

移住者への住居の斡旋についてですが、移住者が移住先を検討するに当たって重視する点はさまざまであり、住まいもその重要な要素の一つと考えております。

現在本町では「後志空き家バンク」の会員となっておりますが、そこでは不動産事業者のご協力もいただきながら、後志管内の利活用可能な空き家に関する賃貸、売買に関する情報が得られるようになっており、ワンストップ窓口においても空き家バンクに関する情報を提供しております。

また、本町への移住・定住の促進のため、分譲宅地「余市まほろばの郷」を含む指定区域内での住宅取得等について補助金を交付する制度もあり、移住を検討している方への情報を提供しているところです。

提出区会名
黒川町第7北区会

要 望 事 項

ゴミステーションの不適切な利用について

本年6月下旬から1か月間、一つの班が適正なゴミ出しの指導や防止のため施錠を試みましたが全く効果がありません。

それどころか指定曜日を守らぬ方が増えました。結果は常に底部全面を袋が占める状態が続いております。対策はゴミ搬入者を特定し、注意することが必要と思われます。

特定をするためには本来の目的を兼ねて防犯カメラの設置が効果的と思われます。町にはこのような状況の把握やカメラの設置に向けての費用助成を区会ともども検討を願うものであります。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
----------	------	-------

不適正排出の解決には、排出者を特定することが必要と考えていますが、監視カメラによる撮影については、個人情報保護との関係でも問題となりえます。監視カメラの映像が特定の個人を識別することができる場合には個人情報にあたりとされていますので慎重な対応が求められているところです。仮に設置して不適正排出者が撮影されていたとしても、その画像を地域の方に示して排出者を特定することは事実上できないとされています。このようなことから先進自治体では、常習的な不適正排出に悩む地域団体に、監視カメラを貸与し、地域の不適正排出防止に対する取り組みを支援し、地域と協同でまちの美化に取り組んでいる事例もあることから本町においてもこれらについて、調査研究をします。

提出区会名
黒川町第8区会

要 望 事 項

信号機の設置について

毎年要望しております。ホクレンスタンド付近（JA中央給油所）交差点に信号機の設置をお願いしたい。（事故多発のため）

回答（処理）事項	担当課名	総務課
----------	------	-----

公道における交通信号機は市町村で設置することができず、道路の交通量や事故の発生状況などを勘案して、北海道公安委員会が設置するものであることから、信号機設置の要望があることについて、今後も引き続き余市警察署にお伝えしていきます。

提出区会名
黒川町第8区会

要 望 事 項

排水ポンプ場の設置について

中の川下流の水門に黒川小学校横にあるような排水ポンプ場を設置してほしい。（赤井川村などの山林が伐採され、保水力が弱まり、大雨などにより氾濫する恐れがあるため）

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>当該河川につきましては、北海道が維持管理を行っている二級河川であります。 当該河川の管理部局の小樽建設管理部に照会したところ、排水ポンプ設置につきましては、多額な費用を要することから事業化は困難と思われませんが、年次計画により国道橋より上流部に向けて浚渫を行い河川水位の低下と河積の確保に努めていると伺っているところであります。 本町としましても、水害から町民の生命と財産を守るという立場から必要に応じ北海道に対し治水上の観点から要望してまいりたいと考えてございますので、ご理解をお願いします。</p> <p>※浚渫（しゅんせつ）とは 川底にたまった土砂などを取り除くこと。</p> <p>※治水とは 川が洪水をおこさないようにすること。</p>		

提出区会名
黒川町第8区会

要 望 事 項

クリーンセンターへの直接搬入について

引越し時や大掃除の時などには、大量のゴミ（不用品）が発生します。他の市町村では町民が直接ゴミ処理センターに運搬し、処理していただくことが可能でしたが、余市町は業者にゴミ処理を依頼することになっています。
 余市町も町民が直接ゴミ処理センターに持ち込める仕組みを作っていただけませんか。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
<p>余市町クリーンセンターでは、町民の粗大ごみ、燃やさないごみの搬入は可能です。（月曜日～金曜日）年末年始を除く祝祭日も可能となっております。（処分料：80円／10Kg） 尚、燃やすごみについては搬入ができませんのでご留意願います</p>		

提出区会名
黒川町第8区会

要 望 事 項

職員の対応について

昨年お願いしました。役場職員のごく一部ですが、町民に対してタメロや高慢な態度などが変わらずに続いています。職員教育の指導をしっかりとってください。電話対応ではまず、氏名を明らかにしてほしい。

回答（処理）事項	担当課名	総務課
----------	------	-----

職員に対しては、業務研修、接遇研修、コンプライアンス研修など、町民全体の奉仕者としてふさわしい資質等を備えるべく各種研修を行っており、今後も研修の充実を図ってまいります。
電話対応については氏名を名乗ることを徹底しているところですが、ご指摘を受け改めて「氏名を名乗らない」「タメロ」「高慢な態度」といったことがないよう、全職員に周知いたしました。
今後、改善が図られずに同様の事案がありましたら、直接総務部総務課までご指摘願います。

※コンプライアンス研修とは
法令遵守のための基礎知識を学ぶ研修

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

津波対策について

地球の構造上、また、プレートが交差する日本では地震は避けられない。それによって生じる津波も避けられない状況です。それ故に、津波に対する備えを図ることが肝要です。「お金がない。今はできない」と言っている時ではありません。住民の生命と暮らしを守るのが自治体の最大の使命です。各町内ごとに避難タワーを作るべきです。昨年の回答では「北海道の津波想定を待って」「建設費用がないので民間活用」と言っているが、北海道の津波想定後の「余市の備え」はどう作成されたのか、「民間活用」はどのようになっているのか。津波は待ってくれません。命を守る避難タワーを一日でも早く建設すべきです。町が避難場所としている私たちの地域の建物は、いずれも海拔が低く実態にはそぐわないものです。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
----------	------	---------

津波対策については、本年2月に北海道から新たな津波浸水想定が公表され、その公表結果に基づき、津波や風水害など災害の種類に対応した避難所の見直しを行い、頑丈かつ高階層の民間施設を避難所として指定するなど、避難体制の拡充を図るとともに、それらを新たに作成する防災ガイドマップに示し、全戸配布により皆さんにお知らせすることとしています。なお、津波タワーの設置については、建設に伴う費用や維持管理費などを考慮すると、早期に整備することは困難な状況にありますので、ご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

空き地対策を

空き地・休耕地などが雑草で埋もれ、害虫や疫病の巣となっています。自治体は持ち主を把握している（固定資産税を徴収）ので、「地主に管理を徹底すべき」と申し上げたところ、回答は「区会で対処すべき」との事。何か勘違いをしているのではないのでしょうか。害虫の発生や疫病の原因を予防するのは、自治体の仕事です。区会に丸投げするとは、言語両断です。住民からの苦情受付係を設けて対処されるよう対策を立てられたい。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
-----------------	-------------	------------

空き地等につきましては、本来、持ち主の方が適正に管理を行うことが必要と考えるところですが、雑草の繁茂や害虫の発生、ごみの放置など近隣住民の生活環境の保全という観点から、地域とも相談しながら所有者に適正な管理を行っていただくような働きかけも必要と考えるところでありますので、ご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

泊原発の再稼働に反対し、廃炉を求める運動を推進されたい

日本はプレートの交差する上にある列島です。地震は避けられません。それ故に、そんな所に原発を作る考え方が理解できませんが、原発が出来ていることは事実です。これを早急になくさなければなりません。泊原発も活断層の近くにあり危険です。今、原発0に向けての動きが出始めていますが、余市町も泊原発の廃炉にむけた運動の先頭に立って行動されることを望みます。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
-----------------	-------------	----------------

泊原発については、現在、国の原子力規制委員会において再稼働に係る審査を継続中ではありますが、原発は何よりも安全性の確保が最優先であり、福島第一原発の事故原因の究明や事故後の対応が進んでいない状況においては、再稼働について慎重であるべきと考えております。

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

避難所について

八幡会館は避難場所として適さないのではなかろうか。新規に建設すべきである。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
<p>現在、本町では、八幡会館を含む公共施設及び民間施設あわせて45か所の施設を避難所として指定しておりますが、八幡会館を含め、いくつかの公共施設については、建設より相当の年数がたっており、老朽化が進んでいるのが現状です。そうした中、本年2月には、北海道から新たな津波浸水想定が公表され、年度内には、余市川の浸水想定区域も公表される予定です。本町では、それらの公表結果に基づき、津波や風水害など災害の種類に対応した避難所の見直しを行い、頑丈かつ高階層の民間施設を避難所として指定するなど、避難体制の拡充を図るとともに、それらを新たに作成する防災ガイドマップに示し、全戸配布により皆さんにお知らせすることとしています。</p>		

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

黒川の川底の泥上げを行ってほしい。

黒川の川底の泥上げを行ってほしい。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
<p>準用河川黒川につきましては、河川の流下能力を確保する治水上の観点から、定期的に川底の泥上げや雑草等の除去等を行っております。</p> <p>区間によっては地先調整を要する箇所もあることから、現地の状況確認を行った上で必要に応じ浚渫や雑木雑草等の除去を致すよう考えておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>※流下能力（りゅうかのうりよく）とは どのくらいの水を流すことが出来るのかを表したもの。</p> <p>※治水とは 川が洪水をおこさないようにすること。</p> <p>※浚渫（しゅんせつ）とは 川底にたまった土砂などを取り除くこと。</p>		

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

余市駅の駐車場について

余市駅に無料駐車場、または、格安1回500円程度の場所を設けてほしい。駅前の産業活性化を生むと思います。車利用、JR利用両方の良さを構築してほしい。

回答（処理）事項	担当課名	建設課
----------	------	-----

余市駅の駐車場につきましては、駅前広場内の駐車場として30分以内の一般車両駐車場としてご利用をいただいているところです。
併せまして、周辺には黒川町営駐車場や黒川第2町営駐車場が配置されており、駐車時間30分まで無料、以後1時間増すごとに100円の駐車料金としてご利用をいただいておりますので、ご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

子どもに関する支援センターの設置について

子どもに関する支援センターの設置を要望します。

回答（処理）事項	担当課名	町民福祉課
----------	------	-------

本町では子育て支援センターの設置はございませんが、今年5月から黒川児童館において、地域子育て支援拠点事業「あっぷる」を開設し、就学前の概ね3歳未満の子育て中の親子を対象とし、保育士による子育て相談や、子育て親子が気軽に集える場を提供しております。
今後も、子育て支援拠点づくりの充実を図りながら、子育て中の親子の交流や相談体制を推進してまいりますのでご理解をお願いします。

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

災害発生時の避難指示について

Jアラート(全国瞬時警報)及び災害発生時における町民に対する避難指示の徹底。

回答(処理)事項	担当課名	地域協働推進課
<p>災害発生時の避難指示については、現在、災害等の発生または発生のおそれがある場合には、その地域の皆さんに対して広報車による伝達や携帯電話への緊急速報メール(エリアメール)の配信、マスコミへの情報提供、さらには区会への連絡や個別訪問などにより対応することとしていますが、現在、本町では防災無線の整備に係る調査・研究を実施しており、災害時に皆さんに確実に情報が伝わる手段の検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いします。</p>		

提出区会名
黒川町第7南区会

要 望 事 項

所有者不明の土地・家屋の実態把握

所有者不明の土地・家屋の実態把握
 空家～防犯上の見地から
 空き地～環境・防災上の見地から

回答(処理)事項	担当課名	まちづくり計画課
<p>空家の実態把握については、平成25年に町内区会に対し空家の情報提供依頼をし、取りまとめた区会情報と現地調査により、空家の実態及び所有者等の情報を、データベース化し整理しております。また、本年度中に、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「余市町空家等対策計画」を策定し、ご指摘のありました、防犯上の問題に限らず、周辺に悪影響を及ぼしている空家については、所有者に対し、問題点の解消を図るよう指導等を進めてまいります。空き地については、所有者等に関する情報の利用について法的な整備がなされていないことから、空き地の所有者の特定が困難となっている現状でございます。今後法整備がなされた段階で適切な対応をしてまいりたいと考えております。</p>		

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

町政への要望の回答について

昨年度の回答の仕方ですが、どれもが議会答弁のような回答の仕方に驚かせられました。私たち一般住民は、わかりやすい回答を求めています。専門用語を使用しているものを求めている訳ではありません。読んで納得したいだけなのです。こんなところにも、普段は意識していない町行政の姿勢が現れてきてはいないか、本当に住民の目線に立って分かりやすい表現をしているのか、見直してみるべきだと思います。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
----------	------	---------

町政への要望の回答については、区会連合会をとおして「町政への要望」の募集を行い、いただいた要望に対しましては、区会単位の回答を行っているところであります。回答の仕方につきましては、要望にもありますように、極力専門用語を使用せず、皆さんの目線に立った分かりやすい回答に努めてまいります。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

ゴミステーションについて

ゴミの処理行政は町民の強い関心事です。農協選果場の前にあるゴミステーションに隣の建設会社の事業所から資源ゴミが収集前日毎に出され、区会員が当日資源ゴミを持ち込むとネット袋が満杯で出されない状況です。そもそも事業用ゴミは搬出者が自己処理することが原則と聞いておりますが、この建設会社はルールを守っていません。また海水浴シーズンには、町外と思われる人が分別されていない生活ゴミを大量に出していきます。余市町はゴミの出し方に現在どのような指導を行い、今後は区会員の要望にどう取り組んでいくのかお聞きしたい。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
----------	------	-------

町といたしましても、原因者が特定できるごみの出し方のルールを守られていない方（個人・事業所）については、適正な排出方法について指導しております。尚、今回ご指摘の建設会社については事業所から排出されるごみであることから、地域のステーションに排出できない旨を説明し納得をしていただき、適正な処理を行う旨回答を得ております。また、海水浴シーズンの生活ごみについては、町が開設している海水浴場にはゴミステーションを設け分別したうえで排出していただいております。海水浴シーズンに限らず、同様の町外の人が地域のステーションに排出しているケースもあるとの情報が環境対策課へ寄せられておりますので、固定式のごみステーションには鍵を設置するなどの予防策をお願いしております。ごみの出し方の指導については、町広報・ホームページを活用し、ルール・マナーの徹底を呼びかけ、自分が出したごみが収集されたのかを確認していただき、残されている場合には持ち帰り適正に排出することをお願いしております。区会員様の要望に対する町の取組みについては、色々な事案があろうかと思っておりますのでその都度、環境対策課へご相談いただければと思います

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

農道空港について

農道空港が避難場所になっているが、登り口から上までの間照明が一切ありません。夜間に避難する時など真っ暗闇では危険なので、照明が必要だと思います。また、冬に除雪もしないと避難できないと思います。

回答（処理）事項	担当課名	地域協働推進課
----------	------	---------

農道空港は、災害時の避難場所となっておりますが、要望内容にありますように、街灯の設置がない状況となっており、夜間の避難の際には危険を伴う可能性もあることから、街灯の設置について関係課と協議してまいります。また、冬期間の除雪については、非常時のヘリコプターの発着場所として、滑走路の一部と赤井川線から通じる道路の除雪は行っております。なお、海側からの道路につきましては、急こう配と排雪場所の確保の問題等から、大型除雪機での除雪は困難な状況となっておりますが、冬期間も避難場所としての機能が果たせるよう徒歩での避難通路の確保も含めた除雪体制について関係課と協議してまいります。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

ごみ捨て場について

ごみ捨て場の囲いにネットを被せていただけたらありがたいと思います。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
----------	------	-------

ご要望のごみ捨て場とは、移動式（折りたたみ式）のごみステーションのことかと思いますが、カラス等の有害鳥獣対策にネットをご要望されているのかと思います。町では、固定式・移動式・ごみネットにおいては設置に際し、助成制度を設けております。助成を受ける場合は、区会長を通じ区会として申請していただければなりません。現状の詳細について、ご要望内容から適切な回答ができないことから、ごみ排出日に環境対策課職員が現地を確認し適切な対応させていただきたいと思いますので、環境対策課までご連絡をお願いします。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

道の駅について

道の駅を5号線沿いに移転し、レストランや農産物・海産物、ウイスキーやワインなどの直売所を充実させ、広い駐車場を備えたものにすべきだと思う。

回答（処理）事項	担当課名	商工観光課
----------	------	-------

町では、今後、分散している施設を集約し、さらに新たな機能を加えつつ道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を図っていくような計画とし、具体的な施設配置関係、機能集約・機能充実、地域の情報発信拠点として位置付けができるよう、取り進めていくところです。現在、最近の道の駅にふさわしい建築施設及び利用しやすい駐車場形態を再編整備するために調査検討を行っています。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

ごみステーションについて

まほろば内ごみステーションの汚れ、というか出し方が気になります。ゴミにシール記入するなど責任をもって出せるといいと思います。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
----------	------	-------

各家庭から排出されるごみにシールを貼り、どこの家庭から排出されたごみかを特定する手段としては、とても良い方法であると思いますがプライバシーの関係上、町民全ての方が納得していただければ導入することは厳しいと思います。各家庭において、ルール・マナーを守り責任を持ってごみの排出をしていただけるよう、町としても更に広報等にて周知を図っていきます。ただし、ご要望のような排出方法を採用している自治体があるか、調査研究してまいります。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

ゴミの未回収の要望

最近、一部のゴミステーションに回収されないゴミ（特にプラ）が残されている事例が多くなりました。分別が不十分なために回収できないのが理由ですが、その処置等は当番の方や、ステーション近隣の方が自発的に行っております。各個人がもう少し意識をもって分別をすれば、簡単に解決できる問題ですが、多様な人々が居住している地域では後を絶たないのが現状です。地域住民だけではなく、通勤途上や夜間に車で置いていくケースもあるようでいつもその対策に苦慮しております。担当課の事情等も理解できますが、「ゴミステーション内」に置かれたゴミは美観や衛生上を考慮し、できるだけ回収してほしいと思います。ゴミ処理については、維持管理を含めすべて地域の責任にするのではなく、町も地域住民の目線でその対策を要望します。

回答（処理）事項	担当課名	環境対策課
<p>ごみの出し方については、町広報・ホームページにてルール・マナーを守っていただくようお願いしているところであります。本来、自分の家庭から排出されるごみは、自分の家の近くのステーションに出すことになっており、環境対策課にも同様な通勤途中や夜間に他のステーションにごみを出している人がいるとの苦情が寄せられ、町としても大変苦慮しております。</p> <p>また、ごみステーション内に置かれたごみについては、自分が出したごみが収集されたのかを確認していただき、残されている場合には持ち帰り適正に排出することをお願いしております。置かれたごみを単に回収すれば、その出し方が適正な分別方法との認識を持たれ、抜本的な改善につながらないことから翌々日位までは置いていただき、それでも回収されない場合は環境対策課へご連絡をいただければ回収致します。</p> <p>町では、昨年の10月から今年の9月末までに、ごみの不法投棄・不適正排出により回収を求められた苦情件数は644件受理し、全て対応処理しており町民の皆様の生活環境のため日々、鋭意努力しているところでありますが、このような対応を要しないルール・マナーをひとりひとりが守っていただくよう更なる周知を図ってまいります。</p>		

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

広報紙について

以前から時々HPを閲覧させてもらっていますが、今のHPはとても見やすいですね。昨年度実施された町政への質問や意見等についてもHPに掲載されており、区会の回覧文書では、自分の所属する区会への回答しか知ることができなかったのですが、町内全地区の回答が掲載され、適切な情報公開と感じました。

さて、昨年度の回答について割り切れないものを感じましたので意見を述べさせていただきます。町の広報について、他町村のと比べて見やすく分かりやすい広報の誌面作りをしてほしいとの要望がありました。について、このような内容で回答しています。「広報の誌面については区会に意見集約者(?)がいるのでそこを通してほしい(?)」との内容だったと記憶していますが、広報紙は町政・役場と住民を結ぶ最低限の情報発信手段と思います。ですからその誌面には町政側の町民に対する目線が如実に反映されるものです。町政がどこを向いて行われているのか姿勢が表現されるのです。私も黒松内町や蘭越町、ニセコ町での広報にも接してきました。谷口黒松内町政、宮谷内蘭越町政、そして、逢坂誠二後のニセコ町の佐藤町政、そして現片山町政のどれもが町作りに向かう姿勢が広報誌には鮮明にされておりました。単に町役場の各関係部局にページを振り分け、紙面構成も何のその、一方的なお知らせとお願いに始終している誌面を毎月毎月読む身にもなって下さい。遅ればせながらも、住民自治基本条例を作成しようとしているのですから、本当にこのような姿勢でよいのか見直していく時期に来ているのではないのでしょうか。

回答(処理)事項

担当課名

地域協働推進課

広報誌については、町区会連合会より各ブロックごとに選出された4名の「広報モニター委員」より意見をいただき、より見やすく、そしてわかりやすい広報誌となるよう努めているところです。広報誌は、要望にもありますように、役場と住民の皆さんとを結ぶための情報発信手段であり、町政の状況をお知らせするものであります。今後も、全国の自治体の広報誌を参考にしながら、内容の充実や読みやすさの工夫など行い、「読みたい」と思われる広報誌の編集に努めてまいります。

提出区会名
黒川町八幡区会

要 望 事 項

町政への要望のやり方について

区会を通しての意見集約の方法の見直しも必要ではないのか。町からの依頼について、区会の果たしてきた役割は大きいと思う。しかし、町政への意見集約の方法として、区会だけを使っているのはどうなのだろうか。というと、各町の施設に意見箱を設けているのではないかと言われそうだが、これは言いたいことがあったら書いて出せという上からの目線を感じてしまう。

区会役員を中心とした、町政懇談会を区内各町内単位で毎年行ってはいるようだが、この懇談会は、町政への批判を封じた「話し合い」だと前置きされているとも聞こえてくる。批判も恐れず、町民から多様な意見を聞くことは住民がどのような思いで余市町で生活しているかを知ることが出来る良い機会だと思う。批判や意見を恐れていては住民が何を求めているのかを知る、せつかくの機会をそのような「区会役員を中心とした」「話し合い」に限定して吸い上げないことは、誰のための町政なのかと思う。批判や意見を言われることは辛いことだが、その意見にどのように向き合っていくのかがとても大切なことと思う。（単に町には金がない・規則ではこうなっているから一方的に根拠を示してぼっさりと切るような方法がいかにおおかったか）一方的な言い分を改め、多様な意見に耳を傾け、町政を担うことが今後の余市を考えるときに是非とも必要なものであると思う。

回答（処理）事項

担当課名

地域協働推進課

町政への要望については、現在、区会連合会をとおして各区会に協力いただき実施している「町政の要望」の意見集約と町内の各施設に通年設置している「要望・意見の受付箱」さらには電話や電子メールによる相談や要望、問い合わせ等に対応しているところです。また、直接、皆さんの声を伺う機会として、例年、「町政懇談会」を開催しておりますが、要望にもありますように、これからの余市町を考えるときに、多様な意見に耳を傾け、町政を担うことが必要でありますので、一方的な話し合いではなく、皆さんから少しでも多くの意見が聞けるような懇談会となるような手法について検討しているところであります。